

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月4日

協働会名: 鯖江市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 (つつじ線、越前観光線、鯖江交通線、鯖江高速観光線)

Table with 6 columns: ①補助対象事業者等, ②地域公共交通調査事業, ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況, ④事業実施の適切性, ⑤目標・効果達成状況, ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む). Rows include つつじ線, 越前観光線, 鯖江交通線, and 鯖江高速観光線.

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月4日

協議会名:

鯖江市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域の交通の目指す姿  
(事業実施の目的・必要性)

鯖江市は、中心部はJR北陸本線と福井鉄道福武線の2社の鉄道が縦断していることにより公共交通の利便性が確保されているが、鯖江市西部は日野川により、鯖江市東部は東部に長くのびる地理により中心部へのアクセスが制限されている。高齢化による運転免許返納や市中心部への医療施設・商業施設の集中により、東西の集落と市中心部を結ぶ公共交通による移動手段はますます重要となってきた。今後も市中心部への拠点集中が見込まれることから、鯖江市は「どこにでも歩いていけるまち」をスローガンに、高齢者だけでなく市民全体が公共交通による利便性を享受できるよう公共交通網の整備を図る必要があると感じている。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和4年1月4日

協議会名: 鯖江市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p style="text-align: center;">【事業内容及び結果概要を記載】</p>	<p style="text-align: center;">A・B・C 評価</p> <p>【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】</p>	<p style="text-align: center;">【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】</p>
<p>【事業内容】</p> <p>①地域公共交通等の現況調査 ②住民意向の調査・分析 ③地域公共交通に関する課題整理 ④地域公共交通計画(案)、利便増進実施計画(案)のとりまとめ ⑤協議会開催</p> <p>【結果の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口、高齢化の状況や観光入込客の動向等を基に市内公共交通の現況を整理し、現行計画や上位計画、関連計画との整合・連携も意識し課題を抽出。</li> <li>・公共交通に関する現在の市民の利用状況を把握するとともに、公共交通施策に市民意向の反映に向けアンケート調査を実施。</li> <li>・抽出・整理した課題の解決に向けて、持続可能な地域公共交通に関する基本的な方針を纏める。</li> <li>・上記進めるため協議会を定期開催。</li> <li>・「地域公共交通計画(案)」の協議会における承認。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">概ね計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>【補助対象事業】</p> <p>地域公共交通計画策定事業、利便増進計画策定事業</p> <p>【事業内容】</p> <p>①地域公共交通等の現況調査 ②住民意向の調査・分析 ③地域公共交通に関する課題整理 ④地域公共交通計画(案)、利便増進実施計画(案)のとりまとめ ⑤協議会開催</p> <p>【実施時期】令和3年10月15日～令和4年3月31日</p> <p>【計画策定に向けた方針】</p> <p>次年度以降は、通勤・通学支援や観光支援を一旦整理し、市民の生活に根ざしたシンプルで利用しやすく、分かりやすいダイヤ、特に高齢者の足の確保に重点を置き利便性の向上を図っていく。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月4日

協議会名:	鯖江市地域公共交通活性化協議会
-------	-----------------

評価対象事業名:	地域公共交通計画策定事業、利便増進計画策定事業
----------	-------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>鯖江市は、中心部はJR北陸本線と福井鉄道福武線の2社の鉄道が縦断していることにより公共交通の利便性が確保されているが、鯖江市西部は日野川により、鯖江市東部は東部に長くのびる地理により中心部へのアクセスが制限されている。高齢化による運転免許返納や市中心部への医療施設・商業施設の集中により、東西の集落と市中心部を結ぶ公共交通による移動手段はますます重要となってきている。今後も市中心部への拠点集中が見込まれることから、鯖江市は「どこにでも歩いていけるまち」をスローガンに、高齢者だけでなく市民全体が公共交通による利便性を享受できるよう公共交通網の整備を図る必要があると感じている。</p>
-----------------------------	--